

4/3

魅力満載、いざ出航！



「天拝の船」プレオープンイベント

筑紫野市総合公園の大型遊具「天拝の船」のリニューアルが完了し、プレオープンイベントを開催しました。天拝の船には日本一の高さから滑るフリーフォールすべり台など魅力が満載で、船の周りにも海をイメージした遊具やインクルーシブ遊具などがたくさんあります。参加した子どもたちは歓声を上げながら、時間が足りないといばかりに遊び駆け回りました。



100組の参加者も平井市長と一緒にテープカットをしました

3/19

西小田橋に 夢を描こう



橋に絵を描く貴重な体験

今年の夏に開通予定の西小田にある西小田橋で、子どもたちが橋をキャンバスに絵を描きました。参加したのは卒業したばかりの筑紫東小学校の元6年生と地域住民などおよそ70人です。主催した県那珂県土整備事務所では「舗装後、絵は見えなくなりますが、橋の歴史となります。いい思い出にしてもらえれば」と話していました。



旧西小田橋は60年間、人や物を渡し続けました

4/6

世界へ響く音色



ピアニスト熊本海音さん

国内外を舞台に活躍する、本市在住の小学生ピアニスト熊本 海音さんが、今年3月、自身初のピアノリサイタルを開き、大盛況を収めました。熊本さんは「遠方からピアノを師事した先生たちも来てくださり、感謝の気持ちでいっぱいになりました」と話しました。今年度もオーケストラとの共演を予定しており、日本を代表するピアニストとして成長し続けています。



目標は「ショパンコンクール優勝です」

3/24

インドで ラグビー指導者に



JICA海外協力隊市長訪問

本市出身の廣崎 颯太さんは、国際協力機構(JICA)が実施する、開発途上国での海外ボランティアに参加しています。廣崎さんは、筑紫高校でラグビーに打ち込み同志社大学へ進学。派遣先のインドでは小学生から大学生までおよそ500人を指導します。「ラグビーを教えるだけでなく、インドの生活環境についても学び、改善に挑戦したい」と意気込みを語りました。



令和10年4月までインドに派遣されています

4/15

「もしも」のときに 備えて



株式会社キナンと災害時協定を締結

建設機器のレンタルや温浴事業などを行っている株式会社キナンと、災害時におけるレンタル資材の提供並びに一時避難場所および入浴施設の使用に関する協定を締結しました。この協定により、資機材に限らず、一時避難場所や入浴施設などの支援を受けることができます。株式会社キナン代表取締役社長の角口 孝幸さんは「少しでも地域の皆さんに安心が提供できたら幸いです」と話しました。



協定書を持つ平井市長と角口社長(左から2番目と3番目)

4/6

安全安心な 社会実現に向けて



春の交通安全県民運動出陣式

春は入学、入園したばかりの子どもたちが慣れない通学を始めることもあり、交通事故の増加が懸念される時期です。4月6日(月)からの春の交通安全県民運動の一環として、市役所前ふれあい広場で出陣式が行われました。式の中では太宰府天満宮の巫女の2人が交通安全宣言をし、九州産業高等学校による和太鼓演奏に鼓舞された車両部隊が市内に向けて出発しました。



白バイを先頭に出発しました

4/15

勝ちたいという 気持ちが勝利へ導く



県代表として全国2位に輝く

筑紫野中学校3年の赤羽 美花さんは、全日本中学生バドミントン選手権大会に福岡県選抜のダブルスで出場し、準優勝の栄光に輝いたことを、平井市長に報告しました。赤羽さんは、普段の練習から心がけていることを「勝ちたいという気持ちです」と語り、次の目標に向けての意欲を燃やしていました。



「次の目標は7月の日本中学校体育連盟の大会で優勝することです」

4/13

交通安全対策への 協定締結



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社では、急ブレーキや急発進などを感知する車載器からデータを集積し、地域独自の交通安全マップを作成するなど、デジタル技術を活用した地域貢献活動に取り組んでいます。市との協定締結を機に「事故を起こさないための安全・安心な社会づくり」をめざし連携を深め、地域交通安全対策に取り組めます。

交通安全対策に関する連携協定締結式



協定書を交わす平井市長(左)と平瀬 勝重理事福岡支店長(右)